

# 嘔吐物処理方法

- ・換気をしっかり！
- ・周りの方を遠ざける。
- ・手袋は二重にセット
- ・嘔吐物処理をした方は、しばらく直接介護をしない。(二次感染防止)



- <ノロセット> ★セットにして置くと便利！！
- ・塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム）
  - ・使い捨てマスク・手袋（2セット）
  - ・使い捨てエプロン
  - ・使い捨てタオル（ペーパータオルや新聞紙）
  - ・ビニール袋（大・中 複数枚）
  - ・希釈器具（ペットボトル・バケツ）
  - ・手洗い用石けん

消毒薬を薄める容器には、薬剤の量や水を入れるところまでの印を記載しておくくと便利です。

6%塩素系漂白剤を60倍に薄めると0.1% (1,000ppm)



- ・使い捨て手袋・マスク
- ・エプロンは大きなポリ袋に襟・袖口箇所をカットした物で代用

処理中、周囲の方は遠ざける

しっかり換気



広げないよう拭き取る

1



静かにビニール袋に入れる

2



0.1%の塩素系漂白剤

介助者で行うとスムーズ

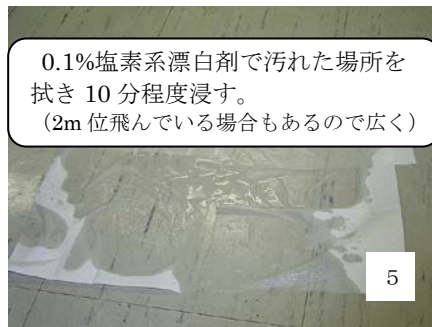
汚物にかけて、除菌する

3



外側の手袋を入れ、汚物が入った内袋を密封する

4



0.1%塩素系漂白剤で汚れた場所を拭き10分程度浸す。(2m位飛んでいる場合もあるので広く)

5



足底の消毒も必要！！

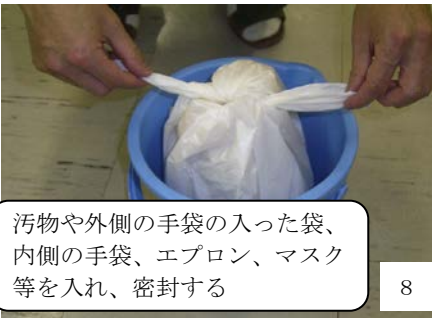
塩素系漂白剤を浸した物を踏む

6



外側を内側にして静かにはずす

7



汚物や外側の手袋の入った袋、内側の手袋、エプロン、マスク等を入れ、密封する

8



手洗いを十分に！！

9

- ・大まかな汚物を取り除いた後、汚染したと考えられる場所は0.1%塩素系漂白剤で消毒
- ・周囲の壁、患者が触れるところ（手すり、ドアノブ、スイッチ、トイレ、トイレのレバー、手洗いの水道栓等）は0.02%塩素系漂白剤で消毒をしましょう。 厨房に戻る食器や配膳車も消毒をすること。
- ・作業従事者は終了後、手洗いを忘れずに！

保土ヶ谷区「実践で学ぶ嘔吐物処理」Youtubeで動画が公開されてます

# 塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム）の消毒薬（希釈液）の作り方

		希釈液濃度			
		0.02% (200ppm)		0.1% (1000ppm)	
		希釈倍	希釈方法	希釈倍	希釈方法
原液濃度	1%	50倍	水1ℓ + 原液 20ml	10倍	水1ℓ + 原液 110ml
	5%	250倍	水1ℓ + 原液 4ml	50倍	水1ℓ + 原液 20ml
	6%	300倍	水1ℓ + 原液 3.3ml	60倍	水1ℓ + 原液 17ml
使用場所		<ul style="list-style-type: none"> <li>調理器具</li> <li>床、トイレのドアノブ、レバー、便座、手洗いの水道栓 等</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>嘔吐物、ふん便自体</li> <li>拭き取った嘔吐物等の付いた紙</li> <li>ふん便のついたオムツ 等</li> </ul>	

《目安》・・・市販の塩素系漂白剤は5～6%が多い。ペットボトルのキャップ1杯は約5ml。

## 塩素系漂白剤の消毒薬は、簡単に作れます！

**【参考例】 1.5リットル（1500ml）ペットボトルに、希釈した消毒薬を作る。（濃度6%の原液を使用した場合）**

◆ **0.02% (200ppm)** を作る目安

→ ペットボトルキャップ1杯の原液（計4.95 ml）を  
ペットボトルに入れ、水を加えて1.5リットル（1500 ml）にする。  
(できあがり)

◆ **0.1% (1000ppm)** を作る目安

→ ペットボトルキャップ5杯強の原液（計25.5 ml）を  
ペットボトルに入れ、水を加えて1.5リットル（1500 ml）にする。  
(できあがり)

## 【次亜塩素酸ナトリウムとは？ 使用上の注意】

- 塩素系漂白剤の成分です。
- 消毒効果を保つため、原液は遮光のできる場所に保管してください。
- 希釈した消毒薬は時間とともに消毒効果がなくなるので作り置きはせず、消毒時にその都度作ってください。
- 金属材質を腐食することがあるので、消毒後は速やかに水で洗うか、拭き取ります。
- 衣服やじゅうたん等に使用すると色落ちすることがあります。
- 使用する時は十分な換気をしましょう。酸性の洗剤等と混ぜると塩素ガスが出るがあるので併用しないでください。
- 皮膚荒れを起こしてしまうため、手指などの消毒には使えません。